

今週（11月18日から11月22日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続き動意に乏しい展開となった。ビッドサイドの資金調達ニーズは、非常に強い状態が継続している事から、出会いレート水準は週を通して0.22%台が中心となった。そのため、加重平均レートについても21日(木)までは、0.227%の横這いで推移。22日(金)は、週末要因により0.227%のビッド件数がやや増加したものの、全体のレート水準に大きな影響は見られなかった。

ターム物については、1W～3M程度の期間で引き合いが散見された。ショートターム物では目立った変化は見られなかったものの、3M近辺のロングターム物については、12月、1月と決定会合を跨ぐ取引となる事から利上げを織り込む動きが進み、レート水準は前週対比で上昇する展開となった。

日銀当座預金残高は、18日(月)に5年債の発行を主因に2兆円程度減少し、544兆円台前半からスタートした。その後は小幅な増減を繰り返しつつも、概ね横這い圏で推移する中、22日(金)に20年債の発行を受けて、543兆円台前半まで減少する見込みとなった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、概ね0.215～0.255%程度の水準で推移した。

SC個別銘柄では、カレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが入札を通じ水準調整された。

19日(火)に実施された1Y物入札は、無難な結果となった。結果発表直後のセカンダリーマーケットでは強含んで推移したものの、その後は早期利上げを警戒し軟調に推移する展開となった。22日(金)に実施された3M物入札も無難な結果となったが、結果発表後のセカンダリーマーケットでは堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、電気機器、卸売業、鉱業など複数の業態で大型発行が行われた。

市場発行残高は、週を通して24兆円台半ばでの推移となった。

発行レートは、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（％）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・％）	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・％)	日銀当座預金残高 （億円）
11/18（月）	38,220.85	1.070	154.30	0.227	0.234	5,443,300
11/19（火）	38,414.43	1.065	154.42	0.227	0.238	5,451,200
11/20（水）	38,352.34	1.065	154.88	0.227	0.238	5,444,800
11/21（木）	38,026.17	1.095	155.05	0.227	0.224	5,447,700
11/22（金）	38,283.85	1.080	154.40	0.227	0.238	5,432,100

来週（11月25日から11月29日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
11/25 (月)	9月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)	流動性供給 5,000億円 11/26発行			
11/26 (火)	10月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	交付税借入 13,000億円 12/4借入			9月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 10月の米新築一戸建て販売件数 11月の米CB消費者信頼感指数
11/27 (水)		40Y 7,000億円 11/28発行			7-9月期の米GDP改定値 10月の米個人所得・消費支出(PCE) 10月の米耐久財新規受注
11/28 (木)					New York祝日(Thanksgiving Day)
11/29 (金)	11月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 10月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 10月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30) 10月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 10月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 10月の住宅着工統計(国土交通省 14:00) 11月の消費動向調査(内閣府 14:00)	TB3M 43,000億円 12/2発行	2Y 26,000億円 12/2発行		11月のシカゴPM景況感指数 11月のユーロ圏消費者物価指数速報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
11/25 (月)	▲ 400	18,200	17,800	国債買入 CP買入 国債補完	▲ 300 4,800	11,000	15,500	33,300	TB3M発行▲43,000償還49,000 国有林野借入▲723償還776
11/26 (火)	▲ 500	▲ 5,000	▲ 5,500				0	▲ 5,500	流動性供給▲5,000
11/27 (水)	▲ 1,000	▲ 1,000	▲ 2,000	全店共通	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 10,000	交付税借入▲13,000償還13,000
11/28 (木)	▲ 1,000	▲ 10,000	▲ 11,000				0	▲ 11,000	40Y発行▲7,000
11/29 (金)	▲ 1,000	3,000	2,000	CP買入		2,000	2,000	4,000	地方譲与税譲与金の払い 交付税借入▲13,000償還13,000
週間合計	▲ 3,900	5,200	1,300	—	▲ 3,500	13,000	9,500	10,800	

11/25は日銀予想、11/26以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれ、出合いレートは0.227%近辺での推移が予想される。また、ターム物については、12月の決定会合を控え、オファーレートを引き上げる動きが継続すると予想される。債券レポGC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化が見られなければ、レートは引き続き横ばい圏での推移が予想される。短国市場は、29日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、26日(火)にCP等買入オペが2,000億円で実施予定となっており、レート水準を含め参加者の動向が注目される。

主要なイベントは、国内では29日(金)に11月の都区部消費者物価指数、10月の完全失業率・有効求人倍率、10月の鉱工業生産・出荷・在庫速報、海外では、26日(火)に10月の米新築一戸建て販売件数、27日(水)に7-9月期の米GDP改定値、10月の米個人所得・消費支出(PCE)、29日(金)に11月のユーロ圏消費者物価指数速報値などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入